

公共スイミングプールの再開手順

最新の更新内容（変更箇所は黄色で強調表示）：

12/7/20:

- 屋内プールは、認定インストラクターによる水泳レッスンを含む、溺水防止クラスにのみ開放することができます。屋外プールは、認定インストラクターによる水泳レッスンを含む溺水防止クラス、および規定されたラップスイミング（各レーンに1人の水泳者）向けに開放することができます。

12/3/20:

- 仕切りの付いたキュービクルを含め、作業スペースで働く従業員はフェイスカバーを着用しなければなりません。これは、2020年11月28日に発令された一時的な衛生担当官命令に準拠した一時的な措置であり、この要件は、2020年11月30日の午前12:01（PST）から追って通知があるまで有効です。
- 飲食する際は常に、従業員は他の人から6フィートの距離を確保し、可能であれば屋外で行う必要があります。休憩室での食事よりも、キュービクルやワークステーションでの飲食が望まれます。
- 頻繁に触れる物の表面や共同のエリアは、1時間ごとに消毒を行う。

ロサンゼルス郡公衆衛生局は、公共のスイミングプールを安全に再開するにあたり、カリフォルニアのロードマップにも準拠した 科学と公衆衛生の専門知識に基づく段階的アプローチを試みています。公共プールには、キャンプ場プール、クラブプール、商業プール、ヘルスクラブまたはフィットネスクラブ、ホテルのプール、認可されたデイケア施設のプール、医療施設プール、ミネラルスプリングプール、モータープール、市営プール、公立または私立学校のプール、レクリエーションまたはモバイルホームパークプール、リゾートプール、特殊用途プール、水泳スクールプールなどがあります。

ホットタブ・ジャグジー・スパプール、ウォーターパーク、遊園地内にあるスプラッシュパッドは、調整または全面稼働を再開できるまで引き続き閉鎖されます。

屋外プールは、認定インストラクターによる水泳レッスンを含む、規定されたラップスイミングと溺水防止のクラスにのみに限り運営が許可されます。

屋内プールは、認定インストラクターによる水泳レッスンを含む溺水防止クラスにのみ開放されます。

プールにあるウォータースライド、乗り物、その他のウォーターアトラクションは引き続き閉鎖されていなければなりません。

住宅用スイミングプール（アパートのプール、ベッド・アンド・ブレイクファストインのプール、マンションのプール、住宅組合のプール）は、共有住宅施設のプールの再開手順に従う必要があります。

本ガイダンスの対象となるすべてのプール運営者は、以下に記載されているすべての適用可能な対策を実施し、対策が実施されていない場合は、それが適用されない理由を説明する必要があります。

注：本文書は、追加情報やリソースが入手され次第 更新されることがあるため、定期的にロサンゼルス郡のウェブサイト <http://www.ph.lacounty.gov/media/Coronavirus/> をアクセスして、本文書が更新されていないかご確認ください。

本チェックリストの内容

- (1) 職場における従業員の健康を保護するための方針と実践
- (2) 物理的距離を確保するための措置
- (3) 感染防止対策
- (4) 従業員および市民とのコミュニケーション
- (5) 重要なサービスへの平等なアクセスを確保するための対策

施設が再開手順に取り組む際、これら5つの重要点を考慮する必要があります。

本ガイダンスの対象となるすべての企業は、以下に記載されているすべての適用可能な対策を実施し、対策が実施されていない場合は、それが適用されない理由を説明する必要があります。

企業名:

施設住所:

投稿日:

A. 職場における従業員の健康を保護するための方針と実践（施設に該当するものをすべて選択）

- 在宅勤務で職務を果たせる従業員には、在宅勤務が指示されている。
- 脆弱なスタッフ（65歳以上、慢性疾患のある人）には、可能な限り在宅勤務で行うことができる作業が割り当てられている。
- すべての従業員に、病気のときは出勤せず、該当する場合は公衆衛生局のガイダンスに従い自己隔離を行うよう指示している。
 - 訓練を受けた補填用従業員の名簿を作成する。
 - 従業員には、受給資格があれば経済的に自宅待機しやすくなる、雇用者または行政が提供する休暇給付金に関する情報が提供されている。[ファミリーファーストコロナウイルス対策法](#)に基づく従業員の病気休暇の権利、労災補償給付金における従業員の権利、および[州知事令 N-62-20](#)に基づく COVID-19 の労働関連の推定を含む、[COVID-19 における病気休暇および労災補償を支援する行政のプログラム](#)に関する追加情報を参照すること。
- 一名以上の従業員が COVID-19 の検査に陽性反応を示す、もしくは該当する症状を発症（症例）している通知を受けた際に、雇用主はその症例を自宅隔離させ、職場でその症例に曝露したすべての従業員にただちに自己検疫を促す計画または手順を準備している。雇用主の計画では、追加の COVID-19 管理措置が必要となる可能性のあるさらなる職場曝露があったかどうかを判断するために、すべての検疫中の従業員の COVID-19 検査へのアクセスや、検査の手配をする手順が考慮されている必要がある。
- オーナー、マネージャー、または運営者が 14 日間以内に職場内で 3 件以上の症例を知った場合、雇用者はこの発生を公衆衛生局 (888) 397-3993 または (213) 240-7821 に報告する必要がある。クラスターが現場で特定された場合、公衆衛生局は、クラスターへの対応を開始し、感染対策のガイダンスと推奨事項、技術サポート、およびサイト固有の対策を提供する。公衆衛生局のケースマネージャーがクラス

- ターの調査として配属され、施設の対応を指導する。
- 従業員が職場に入る前に**職員に対する検査**が行われる。検査には咳、息切れ、呼吸困難、発熱や寒気の有無、及びその個人が現在隔離・検疫命令下にあるかどうかを含める必要がある。これらの検査は従業員の出勤時に対面、又は遠隔操作で行う。可能な場合は職場での検温も行う。
 - 勤務中に他者と接触するすべての従業員に、無料で鼻と口を覆うのに適切なフェイスカバーを提供する。勤務中に他者と接触する、または接触する可能性のある従業員は常時フェイスカバーを着用する。医療提供者からフェイスカバーを着用しないよう指示された従業員は、個人の状況が可能とする限り州の指示に準拠するよう、下部にドレープの付いたフェイスシールドを着用する。顎の下にぴったりと合うドレープが好まれる。一方向弁付きのマスクの着用は禁じられる。従業員が一人で個人オフィスにいる時、またはその従業員が立った時の身長よりも高いしっかりとした仕切りのあるキュービクル内にいる場合は、フェイスカバーの着用は必要ない。
 - 2020年11月28日に発行されたCOVID-19: Tier 1実質的なサージへの応答対策に関する衛生担当官命令に準拠して、すべての従業員は、ドアが閉まっている個人オフィスで一人で作業する場合、または飲食する場合を除き、常にフェイスカバーを着用しなければならない。2020年11月30日の午前12時1分(PST)から追って通知があるまでの本命令の有効期間中、「立った時の背の高さよりも高いしっかりとした仕切りで仕切られたキュービクルに一人で勤務する従業員はフェイスカバーを着用する必要はない」とした例外は無効となる。
 - マスクが常時正しく着用されているようにするために、従業員は、マスクを安全に取り外して他の人から物理的に離れることができる休憩時間を除き、飲食を控える。飲食する場合は、従業員は常に他の人から少なくとも6フィートの距離を取る。可能であれば、屋外で他の人から離れて飲食することが推奨される。キュービクルやワークステーションが従業員間により広い距離や仕切りを提供している場合は、休憩室で食事をするよりも、キュービクルやワークステーションで飲食することが好ましい。
 - 従業員が食事や休憩に使用する部屋やエリアは、以下の対策を実施することにより占有率が低下し、従業員間のスペースが最大化されている。
 - 休憩に使用する部屋またはエリア内で個人間の距離を少なくとも6フィート確保することができる最大収容人数を掲示する。
 - 食事や休憩に使用される部屋やエリアの占有率を減らすために、休憩や食事の時間をずらす。
 - テーブルを6フィート離して配置して、座席間の距離6フィートを確保するようにする。収容人数を減らすために座席を取り除くかテープを貼る、距離を確保するために床に目印を付け、対面での接触を最小限に抑えるように座席を配置する。仕切りの使用は、拡散をさらに防ぐために推奨されるが、収容人数の削減、物理的距離の確保の代替と見なすべきではありません。
 - 従業員には、フェイスカバーを毎日洗濯、または交換するよう指示する。
 - 従業員は、水の中に入っているときは、布製フェイスカバーを着用する必要はない。
 - 遊泳者の監視を行っているライフガードには、他者の手洗い、布製フェイスカバーの着用、または社会的距離確保の監視は要求されない。
 - 社会的距離措置の実施を監視する別の従業員をその担当に指名する。すべての従業員は、この従業員の職務を認識し、この人物への連絡方法を把握していなければならない。
 - 休憩室で、常に従業員の間で6フィートの距離を保てるよう、休憩時間をずらしている。

- 従業員が利用できる消毒剤および関連用品は以下の場所に常備している。

- 従業員が利用できる COVID-19 に対して効果的な手指消毒液は以下の場所に常備している。

- 従業員は手を洗うため、頻繁に休憩をとることが許可されている。
- 各従業員に本手順のコピーを配布している。
- オプション - その他の対策の説明：

B. 物理的距離を確保するための対策

- 2020 年 11 月 30 日から追って通知があるまで、屋外プールは規制されたラップスイミング（各レーン 1 名の水泳者）にのみ使用できる。プール施設の使用を制限して、プール利用者が同居者以外の人から 6 フィートの物理的距離を確保、または最大占有率 50%を維持する。
 - 現在のプール利用者収容人数: _____ 収容人数の 50%: _____
 - プールの利用に予約制を実施することを検討する。これには、個人のラップスイミング用のフルレーンの予約、および個々の家庭用のハーフレーンの予約が含まれる。
 - ラップスイマーは、同居者以外の利用者から 6 フィートの物理的距離を保つように注意する。水泳者が安全な距離を確保できるように、特定の時間にラップスイミングにレーンを使用できる水泳者の数を制限する。
- 上記のように、指定された現場管理者または他の責任者が、プールサイドまたはプール内の利用者数が最大数を超えないように監視および確認する責任を持つことが推奨される。また、その担当者は、すべての暫定ガイドラインが遵守されているか毎日確認を行う。
- 社会的距離（同居者以外の人々から少なくとも 6 フィート離れる）を確保するための対策を実施する。
 - 州法で義務付けられているように、プールの周囲に 4 フィートのデッキスペースを確保しつつ、プールサイドのレイアウトを変更して、立ち見席および座席エリアでは、物理的距離が確保できるようにする。これには、椅子の除去や、使用を妨げるためのテープの貼付が含まれる。
 - 水中および水に入っていないときに、ゲストや水泳者が少なくとも互いから 6 フィート離れることができるように、物理的な目印やガイド（例えば、水中のレーンの線、またはプールサイドの椅子やテーブル）と視覚的な目印（例えば、プールサイド、床、または通路にテープを貼る）や標識を用意する。
 - ロッカールームで利用可能なロッカーを調整して、物理的距離を維持する。
- 更衣室とトイレは、適切な物理的距離を確保できるように、一度に中に入る人数を監視する。
- プールを含むすべての公共エリアでのパーティーや集会を禁止する。
- COVID-19 対策のための一時的標的安全維持のための在宅命令の期間中、必須と見なされる認定インストラクターによる溺水防止クラスを除き、他の種類の水泳レッスンは中止する。他の種類の水泳レッスンの再開が許可された場合、インストラクターはプールサイドから指導する。対面方式または濃厚接触を必要とするクラスでは、親または同一世帯の方が子供と一緒にプールに入ることが推奨される。プールサイドでのグループスイミングレッスンの参加者と観客の間隔は、6 フィートの距離を確保する。

C. 感染防止対策

- プールに訪れる訪問者は、施設内では常時（飲食時、または水の中にいる時を除く）フェイスカバーを着用することを促される。これは大人と2歳以上の子供すべてに適用する。医療提供者によってフェイスカバーを着用しないよう指示された個人のみ、フェイスカバーの着用を免除される。従業員と訪問者全ての安全を確認するため、フェイスカバーを持たない訪問者が利用できるフェイスカバーを用意する。
- 訪問者が施設に入る前に症状確認が行われる。この確認は、咳、息切れ、呼吸困難、発熱または悪寒、及びその個人が現在隔離・検疫命令下にあるかどうかを含む必要がある。これらの症状確認は直接、又はオンライン症状確認などの代替方法や、または施設の入り口に標識を置いてこれらの症状を持つ訪問者の入場を禁じる事を知らせる。
- プールの安全性チェックを実施して、プールの化学成分が消毒に適切な状態であり、プールの安全装置が検査されていることを確認する。
 - 適切なオペレーションとメンテナンスは水中のウイルスを不活化する。
 - プール施設を設計した会社または技術者に相談して、どの [EPAによって承認されたリストN消毒剤](#) がプールに最適かを判断する。
- 稼働していない施設の場合は、再開する前に5分間温水器具と冷水器具を通水して、施設の配管内の古い水を新鮮で安全な給水に置換する。
- 頻繁に触れる物の表面と共有する備品を使用の度に、清掃と消毒する計画を実施する。EPA承認の消毒剤を使用する。以下は、次のスケジュールで **1時間ごとに** 清掃および消毒を行う。
 - 手すりとスライド _____
 - ラウンジチェア、テーブル _____
 - ドアノブおよびトイレ、手洗いステーション、おむつ交換ステーション、シャワーの表面 _____
 - キックボードとプールヌードル _____
 - 共用施設 (ロッカーなど) _____
 - トイレとシャワー _____
 - その他 _____
- 公衆衛生をサポートするために十分な衛生用品を確保する。衛生用品には、石鹼、アルコール濃度60%以上の手指消毒剤、ペーパータオル、ティッシュ、およびゴミ箱が含まれる。
- 掃除や消毒が必要な家具（例：ラウンジチェア）やその他の共有アイテムが、既に洗浄・消毒された家具やその他の共有アイテムとは別に保管されるようにシステムを設定する。
 - 使用前に、共有の家具、機器、タオルの汚染防止を強化する。
- 水飲み場はカバーをかけ使用できないようにしている。
- プール利用者が物を共有しないようにする。特に、掃除や消毒が困難な物、または顔に触れる物（ゴーグル、ノーズクリップ、シュノーケルなど）の共有を避ける。
- キックボード、プールヌードル、その他の浮遊用具など、プール利用者に適した設備が施設にあることを確認し、可能な限りその共有を最小限に抑える。一度に一名の利用者に使用を制限し、使用するたびに洗浄・消毒する。

- 各自、自分のタオルをプールに持参し、家族以外の人とタオルを共有しない。
- 製造元の指示に従ってタオルを洗濯する。最も適切な水温を使用し、完全に乾燥させる。
- 屋内スペースの換気システムが適切に作動していることを確認する。可能な限り、換気を最大限に高める。
 - ポータブル高効率空気清浄機の設置、建物のエアフィルターの最大設定、および外気の量の増加、オフィスや他のスペースの換気を増やすためのその他の変更を加えることを検討する。

D. 一般市民とのコミュニケーション対策

- 本手順のコピーを、施設のすべての公共の入口に掲示している。
- プール施設の各公共の入り口に標識を掲示し、プール利用者に以下を通告している。
 - 病気の場合、または COVID-19 と一致する症状がある場合は外出しない。
 - 同一世帯ではない人から 6 フィートの社会的距離を可能な限り維持し、プール内で不必要な身体的接触を行わないようにする。
 - プール施設に入る際に手を洗う、または消毒剤を使用する。
 - プールや共有トイレとの行き来を含め、施設の公共エリアを移動する際に、フェイスカバーを着用する。水に入る際には、水泳者に布製フェイスカバーを取り除くよう促す。

E. 重要なサービスへの平等なアクセスを確保するための対策

- 顧客・居住者にとって重要なサービスを優先している。
- 移動が制限されている、または公共スペースにいて病気になるリスクが高い方のためサービスへのアクセスを保証するための対策を講じている。

社会的距離措置および施設や物の表面の消毒手順に関するアメリカ疾病予防管理センターのガイダンスは、https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/parks-rec/aquatic-venues.html#anchor_1589978994218 をご覧ください。